

日本放射線技術学会中部支部医療情報システム研究会主催 初級・中級セミナー
「ゼロから線量情報管理システム構築担当者を育成します。」

日 時：2019年7月27日（土） 10:30 - 16:45 （開場：9:30 受付:10:00）
場 所：金沢大学附属病院 CPD センター
定 員：70名（原則、予約申込です）
後 援：日本医療情報学会中部支部、中部医療情報技師会
参 加 費：会員・学生：1,000円 非会員：2,000円
備 考：医療情報技師3ポイント、医用画像情報専門技師更新ポイント（調整中）
申込サイト：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfivBMeufPNPMaBMQNB8i9rUZtJHuQfQYFyjXlJFbjlFAd-1w/viewform?vc=0&c=0&w=1>
概 要：2020年の被ばく線量管理義務化に向けて線量情報管理システムの導入が検討されていますが、システムの購入だけでは全ての課題を解決できるとは限りません。本セミナーでは、理想的な運用の実現に必要な知識を、基礎知識のない方にもわかるようにお伝えします。詳細と申し込みはホームページをご覧ください。
http://jsrt-chu-mis.kenkyuukai.jp/event/event_detail.asp?id=35098

<プログラム>

1. 線量情報の利用目的を整理する
法橋一生 静岡県立こども病院
2. まずは今の HIS、RIS、PACS の関係を理解しよう
横濱則也 情報通信研究機構
3. 医療被ばくを評価するデータを電子的に記録するためのガイドライン_ver1.0 の解説
長濱航永 富山大学附属病院
4. 線量管理に必要な標準規格の基礎知識（DICOM RDSR、IHE REM、JJ1017）
川真田 実 大阪国際がんセンター
5. システム構築の見えざる壁をプロジェクトマネジメントで乗り越える
法橋一生 静岡県立こども病院
6. 線量管理システムの構築で実際に気をつけるポイント
大谷友梨子 福井大学医学部附属病院